



幼稚部 2月の様子



豆まき

1月の終わりに鬼から手紙が届いたので、鬼の苦手なものは何か話し合い、鬼が来たときに備えて準備をしました。「去年、豆を投げてやっつけたよ」「いわしは臭いから逃げるよ」「鬼は豆が嫌いだよ」「ひいらぎの葉っぱは痛いよ」「去年は豆がらを振ったよ」などこれまでの経験を思い出して話していました。

話し合いを元に、みんなで豆まきに必要なものを商店街に買い物に行きました。

いわしを焼くと煙と共に魚の匂いが教室中に漂いました。「魚の匂いがするね」「これで鬼が逃げるかな」と子供たちは大喜び。やいかがしを作り、鬼が侵入してきそうな経路を考えて飾りました。鬼のお面も作り、豆まきの練習もばっちり！

当日は「みんなで力を合わせてやっつけよう」「玄関に近い方の部屋を暗くしておいたら、ここには子供はいないと思って鬼が帰るんじゃない？」等の案が子供たちから出て、1つの教室にみんなで集まり、豆を構えて鬼が来るのを待ちました。

しかし、いざ鬼が来ると怖くて逃げ惑う子供たち。勇気を出して「鬼は外！福は内！」と豆をまきました。鬼がいなくなると福の神が花びらをまきながらやって来て、「年の数だけ豆を食べてね」と書かれた手紙を一人ずつ渡してくれました。

鬼が帰ってほっとした後は、みんなで教室の掃除も頑張りました。

